

第二種特定鳥獣管理事業実施計画について

1 第二種特定鳥獣管理計画に係る実施計画の作成について

都道府県知事は、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（以下「法」という。）第7条の2の規定により、その生息数が著しく増加し、またはその生息地の範囲が拡大している鳥獣（希少鳥獣を除く。）がある場合において、当該鳥獣の生息の状況その他の事情を勘案して当該鳥獣の管理を図るために特に必要があると認めるときは、当該鳥獣（以下「第二種特定鳥獣」という。）の管理に関する計画（以下「第二種特定鳥獣管理計画」という。）を定めることができ、当県においては、ニホンザル、イノシシ、ニホンジカ、ツキノワグマの4鳥獣について第二種特定鳥獣管理計画を策定している。

また、法第4条に基づいて県が策定している第13次鳥獣保護管理事業計画の第6第4項において、県及び第二種特定鳥獣管理計画により定められた市町村は、年度ごとに実施計画を策定することとなっている。

第13次鳥獣保護管理事業計画（抜粋）

第6 第一種特定鳥獣保護計画及び第二種特定鳥獣管理計画の作成に関する事項

4 第二種特定鳥獣管理計画に係る実施計画の作成に関する方針

(1) 実施計画の作成及び計画に基づく施策の方針




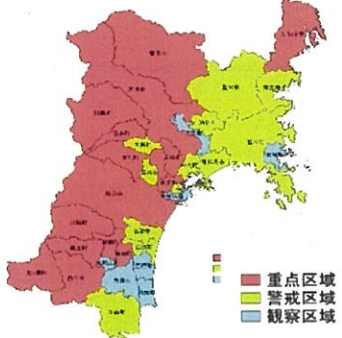
県及び第二種特定鳥獣管理計画により定められた市町村は、第二種特定鳥獣管理計画の目標を効果的・効率的に達成するため、年度ごとに適切な特定鳥獣管理事業を実施するための実施計画を作成する。

なお、当該実施計画は、別に県が策定する指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画と整合を図るものとする。また、第二種特定鳥獣管理計画の効果的な実施に係る取組を推進するため、関係機関は、鳥獣の生息状況及び鳥獣による被害状況に関する情報を共有し、対象鳥獣の個体群管理とともに被害防除対策と一体的に鳥獣の生息環境の管理を図るなど、総合的な取組の推進に向け、連携を図る。

(2) 計画作成年度・計画作成の目的・対象鳥獣の種類・計画の期間・対象区域

計画作成年度	計画作成の目的	対象鳥獣の種類	計画の期間	対象区域	備考
第二種特定鳥獣管理計画期間	第二種特定鳥獣管理計画の目標を効果的・効率的に達成するため	ニホンザル ツキノワグマ ニホンジカ イノシシ	各年度	第二種特定鳥獣管理計画の対象区域 (ただし、ツキノワグマにおいては警戒区域及び観察区域、ニホンジカ及びイノシシにおいては警戒区域を除く)	

2 各第二種特定鳥獣管理計画の管理が行われるべき区域 ※朱字下線は新計画からの追加市町村

計画名	管理が行われるべき区域	図面
<p>第四期宮城県 イノシシ管理計画</p>	<p>県内全域（重点区域を指定し、重点区域以外を警戒区域とする）</p> <p>重点区域：仙台市、<u>石巻市</u>、<u>気仙沼市</u>、<u>登米市</u>、白石市、名取市、角田市、岩沼市、栗原市、大崎市、富谷市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、亶理町、山元町、<u>松島町</u>、<u>利府町</u>、<u>大和町</u>、<u>大郷町</u>、大衡村、色麻町、加美町及び<u>南三陸町</u>（28市町村）</p>	 <p>黄色は新計画からの追加市町</p>
<p>第三期宮城県 ニホンジカ管理計画</p>	<p>県内全域（県内を原住区域、拡大区域A、拡大区域B、侵出抑制区域、警戒区域に区分）</p> <p>警戒区域を除く区域を含む市町： 石巻市、気仙沼市、登米市、<u>大崎市</u>、<u>栗原市</u>、女川町、南三陸町（7市町）</p>	
<p>第五期宮城県 ニホンザル管理計画</p>	<p>県内でニホンザルの生息する10市町（金華山（石巻市）は除く。）</p> <p>仙台市、白石市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町、丸森町、加美町、角田市、山元町及び大和町</p>	
<p>第四期宮城県 ツキノワグマ管理計画</p>	<p>県内全域（県内を重点区域、警戒区域、観察区域に区分）</p> <p>重点区域：白石市、蔵王町、七ヶ宿町、<u>村田町</u>、<u>柴田町</u>、川崎町、仙台市、<u>利府町</u>、<u>大和町</u>、<u>大郷町</u>、大崎市、色麻町、加美町、栗原市、<u>気仙沼市</u>（15市町）</p>	

ニホンザル管理事業実施計画書

令和4年度ニホンザル管理事業実績報告書（県実施分）	．．．．．	p 3～8
令和6年度ニホンザル管理事業実施計画書（県実施分）	．．．．．	p 9～14
令和4年度ニホンザル管理事業実績報告書（市町村分）	．．．．．	p 15～26
令和5年度ニホンザル管理事業実施計画書（市町村分）	．．．．．	p 27～38

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和4年度

ニホンザル管理事業実績報告書(県実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和4年度ニホンザル管理事業実施計画の実績と評価

宮城県

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:長期的な低減を目指すため、最低でも前年度の被害額を下回るよう、各市町村の目標額について実現可能な助言等を行う。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>被害防除対策</p> <p>(1) 農業被害額は1,406万円(速報値)となり、過去3年間の平均634万円を上回った。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合対策交付金により、14事業実施主体における追い払い、有害捕獲活動及び侵入防止柵の設置等を補助した。 (仙台市、白石市、角田市、登米市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町、丸森町、松島町、色麻町、加美町、南三陸町)</p> <p>(3) 鳥獣被害防止総合対策交付金の活用や被害防止計画の更新等について支援・指導した。</p>	<p>農山漁村なりわい課 農作物被害の軽減に向け、引き続き被害防止対策の推進・支援を行う。</p> <p>農山漁村なりわい課 農作物被害の軽減に向け、引き続き交付金の活用により、追い払いや捕獲等の対策を支援する。</p> <p>農山漁村なりわい課 引き続き交付金の活用等について支援・指導を行う。</p>
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲のための購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データのほか、新たに分裂・合流した群れ及び評価時期の古い群れの再評価を検討する。</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合対策交付金により、15事業実施主体における有害捕獲活動等に係る経費を補助した。 (仙台市、白石市、角田市、登米市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、川崎町、丸森町、山元町、松島町、大和町、色麻町、加美町、南三陸町)</p> <p>(2) 群れの再評価等 令和3年度の調査結果も踏まえ、評価基準に当てはめ、5群を再評価した。また、市町村の調査結果により、4群を見直した。</p>	<p>農山漁村なりわい課 農作物被害の軽減に向け、引き続き交付金の活用により、捕獲活動等を支援する。</p> <p>自然保護課 人馴れが進み、評価が低い群れもみられたため、適宜、市町村と情報共有を図っていく。</p>
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業等により研修会を開催し、環境整備の重要性を周知しながら対策の推進を図った。</p> <p>(2) 森林整備に活用できる補助事業の情報ホームページに掲載し、周知を図った。また、各種関連会議の場で事業に関する情報提供を行った。</p>	<p>農山漁村なりわい課 環境整備の推進について、引き続き地域の取組を支援する。</p> <p>森林整備課 引き続き、補助事業等の周知を図り、農地周辺の未整備森林の解消を支援していく。</p>

R4計画	R4実績	評価
<p>(3) モニタリング調査 生息状況調査 現地調査及び地域住民、市町等の関係者からの聞き取りとGPS等電波発信機装着個体の追跡等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS等電波発信機装着個体及び属する群れの行動追跡調査を実施し、遊動域の変化や利用環境の特性等について解析を行う。</p> <p>ハ 捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p>	<p>(3) モニタリング調査 生息状況調査 ・県内の群れの遊動域が変動していることが判明し、ポジション図を修正した。 ・調査結果から、令和4年度現在で県内64群、群れ個体数3,111頭が生息していると推定された。 ・「七ヶ宿G群」「七ヶ宿G1群」と「七ヶ宿G2群」に分裂したことが確認された。</p> <p>ロ 被害状況調査 ・GPS首輪を用いた行動追跡調査の対象群を5群とし、個体捕獲・装着を行った。</p> <p>ハ 捕獲状況調査 ・県全体で、前年比20%増しの281頭を捕獲するに至った。</p>	<p>自然保護課 群れの変動については、引き続き調査を続けることで、状況把握に努めたい。</p> <p>自然保護課 被害抑制と遊動域の把握のため、引き続き調査を行う。</p> <p>自然保護課 引き続き、市町村と連携し、被害抑制に努めたい。</p>
<p>4 その他 (1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象16市町) ※ R3.4末時点 (2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、県の調査及び群れの評価データを提供し、市町村間の調整や、被害防除を優先した計画策定の支援や助言を行う。</p>	<p>4 その他 (1) ニホンザルを対象鳥獣とする7市町における計画の更新を支援した。 (仙台市、白石市、登米市、山元町、松島町、大和町、加美町) (2) 被害対策に係る知識及び技術の取得を目的とする、県・市町村担当者を対象とした農林水産省主催の研修に参加。 (6/21、18名参加)</p> <p>(3) 県内5圏域(大河原、仙台、北部、東部、気仙沼)において地域連携会議を開催し、効果的な被害防止対策の実施に向け、情報交換等を行った。</p> <p>(4) ・市町村との協議において、群れ全体の捕獲ではなく、加害個体のみ捕獲するなどの検討をしてもらうよう努めているが、多頭捕獲により、消滅に近い状況の群れがみられる。</p>	<p>農山漁村なりわい課 適正な計画内容となるよう、引き続き計画の作成及び変更を支援する。</p> <p>農山漁村なりわい課 各地域において効果的な被害対策が推進されるよう研修会を開催するほか、引き続き国主催の研修への参加を促す。</p> <p>農山漁村なりわい課 近隣市町村との連携強化を図るため、引き続き連携会議等を開催する。</p> <p>自然保護課 消滅に近い群れもみられることから、最低限の捕獲となるよう努めてもらう。</p>

R4計画	R4実績	評価
<p>(5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(6) 管理計画に基づき管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要なことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、市町と協力して、鳥獣被害対策関連行事を通じて普及啓発を図る。</p> <p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。</p> <p>イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル管理計画の内容及び新たな指標に基づく関係市町の実施計画策定とその実績に基づいて、分析・評価の見直し等を行う。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会で管理計画が見直された場合は、その内容について検討し、関係者の合意形成を行う。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>(5) 適宜、隣接県と電話による情報交換を行った。</p> <p>(6) ・必要に応じて、市町村関係課との意見交換を行った。 ・合わせて、説明に必要な資料などを、調査受託者に作成を援助してもらった。</p> <p>(7) イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル ・令和4年8月1日に開催し、群れの評価に関する見直しを行うとともに、新たに計画策定市町村として、大和町を追加した。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 ・令和4年8月9日に開催し、群れの評価に関する見直しを行うとともに、新たに計画策定市町村として、大和町を追加した計画の一部改訂が承認された。</p> <p>(8) 県内各地に配置されている林業普及指導員等が、普及活動を通じて、随時被害防止技術の情報提供を行った。</p>	<p>自然保護課 今後も適宜、必要に応じて情報交換を行っている。</p> <p>自然保護課 人馴れしている群れもあり、被害が昨年度と比較して大きく増加したことから、今後も継続して関係者と協力しながら、普及啓発を行っていく。</p> <p>自然保護課 第5次計画の一部改訂について、説明し、承認が得られた。</p> <p>林業振興課 生産者のニーズに応じて引き続き、被害防止技術等について情報提供する。</p>

令和6年度

ニホンザル管理事業実施計画書(県実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和6年度ニホンザル管理事業実施計画計画(案)

宮城県

※赤字はR5計画からの変更箇所

R5計画		R6計画		備考
<p>1 被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:長期的な低減を目指すため、最低でも前年度の被害額を下回るよう、各市町村の目標額について実現可能な助言等を行う。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>1 被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:長期的な低減を目指すため、最低でも前年度の被害額を下回るよう、各市町村の目標額について実現可能な助言等を行う。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p>		
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データのほか、新たに分裂・合流した群れ及び評価時期の古い群れの再評価を検討する。</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データのほか、新たに分裂・合流した群れ及び評価時期の古い群れの再評価を検討する。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p>		
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>森林整備課</p>		

R5計画	R6計画	備考
<p>(3) モニタリング調査 イ 生息状況調査 現地調査及び地域住民、市町等の関係者からの聞き取りとGPS等電波発信機装着個体の追跡等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS等電波発信機装着個体及び属する群れの行動追跡調査を実施し、遊動域の変化や利用環境の特性等について解析を行う。</p> <p>ハ 捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p> <p>4 その他 (1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象15市町) ※ R4.4未時点 (2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、県の調査及び群れの評価データを提供し、市町村間の調整や、被害防除を優先した計画策定の支援や助言を行う。</p>	<p>(3) モニタリング調査 イ 生息状況調査 現地調査及び地域住民、市町等の関係者からの聞き取りとGPS等電波発信機装着個体の追跡等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS等電波発信機装着個体及び属する群れの行動追跡調査を実施し、遊動域の変化や利用環境の特性等について解析を行う。</p> <p>ハ 捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p> <p>4 その他 (1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象15市町) ※ R5.4未時点 (2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、県の調査及び群れの評価データを提供し、市町村間の調整や、被害防除を優先した計画策定の支援や助言を行う。</p>	<p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p>

R5計画	R6計画	備考
<p>(5) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、県の調査及び群れの評価データを提供し、市町村間の調整や、被害防除を優先した計画策定の支援や助言を行う。</p> <p>(6) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(7) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要なことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、市町と協力して、鳥獣被害対策関連行事を通じた普及啓発を図る。</p> <p>イ 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。</p> <p>管理計画の内容及び新たな指標に基づく関係市町の実施計画策定とその実績について分析・評価の見直し等を行う。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 ニホンザル部会で管理計画が見直された場合は、その内容について検討し、関係者の合意形成を行う。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>(5) 管理計画区域市町が実施計画書を作成する際に、県の調査及び群れの評価データを提供し、市町村間の調整や、被害防除を優先した計画策定の支援や助言を行う。</p> <p>(6) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(7) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要なことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、市町と協力して、鳥獣被害対策関連行事を通じた普及啓発を図る。</p> <p>イ 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。</p> <p>管理計画の内容及び新たな指標に基づく関係市町の実施計画策定とその実績について分析・評価の見直し等を行う。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 ニホンザル部会で管理計画が見直された場合は、その内容について検討し、関係者の合意形成を行う。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について、随時情報提供を行う。</p>	<p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>林業振興課</p>

令和4年度

ニホンザル管理事業実績報告書(市町村実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

白石市

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 2.61 ha R3被害実績→ 1.57 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 2,947 千円</p> <p>(3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類 R3被害実績→ 2,847 千円</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 1.86 ha</p> <p>(2) 金額 3,454 千円</p> <p>(3) 作物 稲、豆類、果樹、野菜、いも類</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施</p> <p>(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助</p> <p>(3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 実施隊による銃器での追い上げ、捕獲を実施した。追い払い用火を配布した。</p> <p>(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を行った。</p>	<p>年間被害対策費合計 5,954 千円 捕獲事業:280千円 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会:5,645千円 電柵等への補助金:29千円</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 (群れ捕獲実施予定)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 55 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 1 頭</p>	<p>装着後、昨年度内で捕殺</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 水田周辺の除草作業を推進するよう、啓発を図った。</p>	<p>急傾斜等による田畑の管理が困難な場所が多く、耕作放棄地も増加しており、地域全体での環境管理が進まない。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 被害防除の情報を提供し、自己防除の啓発を図ることができた。</p>	<p>越河地区にて研修会を開催し、自己防除の啓発を図ることができた。</p>

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

角田市

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (3) 作物 未成熟トウモロコシ、カボチャ、果樹類 (4) その他</p>	<p>1 被害状況 (1) 面積 0.00 ha 0.00 ha (2) 金額 0 千円 0 千円 (3) 作物 トウモロコシ、かぼちゃ、柿等 (4) その他</p>	<p>ハナレザルによる農作物被害の発生はあったが、軽微なものであった。 実施隊員による追い払い、定期パトロール等、また、農業者による追い払いにより被害を最小限にとどめることができた。</p>
<p>2 被害防除対策 (1) 食べない野菜、果実等放置の防止を周知 (2) 定期的パトロールの実施 (3) 銃器による追い払い、捕獲の実施 (4) 被害内容に応じた諸対策の提案</p>	<p>2 被害防除対策 (1) 機会を捉えエサとなるものを放置しないよう呼びかけた。 (2) 7月初旬から翌年3月初旬まで、実施隊員による定期的パトロールを実施した。 (3) 定期的パトロール時や出没時に追い払い、捕獲を実施した。捕獲はなかった。 (4) 被害相談等に際し、自宅の戸締りや同作業場に収穫作物を置かないことを指導、また電気柵設置等の被害対策を紹介した。</p>	<p>年間被害対策費合計 846 千円 住民に対し、食物残さや収穫物をニホンザルが発見しやすい場所に置かないなど、被害を呼び寄せない対策を推奨するとともに、実施隊員2名による定期パトロールや追い払い等により、ごく軽微な被害にとどめた。</p>
<p>3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数</p>	<p>3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数</p>	<p>昨年に引き続き捕獲に努めたが、捕獲実績はなかった。しかし、結果として巡回による被害抑止が図られた。</p>
<p>4 生息環境管理 (1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大</p>	<p>4 生息環境管理 (1) 実施隊員により、被害防止パトロールを実施した。</p>	<p>実施隊員による定期パトロールは、地域の出没情報の収集や被害抑止に効果的であり、生息環境の拡大防止に有効と推量される。</p>
<p>5 その他 (1) 住民の被害防止意識の啓発、向上</p>	<p>5 その他 (1) 被害相談時に防止のための自己防止対策等を提案した。</p>	<p>依然として住民の被害防止意識の向上が課題であり、引き続き被害防止のための備え等、意識向上に努めていくことが引き続き重要な視点と思料される。</p>

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

蔵王町

R4計画		R4実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.01 ha R3被害実績→ 0.07 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 20 千円 R3被害実績→ 29 千円</p> <p>(3) 作物 林檎、白菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.09 ha</p> <p>(2) 金額 51 千円</p> <p>(3) 作物 林檎、スイートコーン、白菜、長芋、デントコーン、トマト、南瓜、枝豆</p> <p>(4) その他</p>			
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。</p> <p>(2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。</p> <p>(3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火火を併用した効果的な追払い、捕獲を実施した。</p> <p>(2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、サルに対して有効な防除対策資材(ワイヤーメッシュ柵+電気柵)が高価なため、設置に対する補助金の申請はなかった。</p> <p>(3) 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。</p>		<p>年間被害対策費合計 14,927 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 10,250千円 野生鳥獣被害防除施設(電気柵等)設置事業補助金 4,000千円 蔵王町狩猟免許所得促進事業補助金 677千円 <p>近年、サルの目撃情報が徐々に増加しており、現在までサルの目撃報告がなかった地域でもハナレザルの目撃報告が寄せられているため、今後も追い払い活動や防除対策を継続して実施し、今後も群れが生息していない環境を維持していきたい。</p>	
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭</p>			
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没し難い環境づくりに努めた。</p>		<p>防除対策は行っているが、里山への出没が多くなった。また、耕作地又は宅地と生息地である森林等との間を除草することにより、人気の少ない山林付近の農地又は宅地でも出没を大幅に減少させる効果がみられた。</p>	
<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣被害防除広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。</p>	<p>5 その他</p> <p>南奥羽鳥獣被害防除広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。</p>		<p>今後引き継ぎ南奥羽鳥獣被害防除広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。</p>	

令和4年度二ホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

七ヶ宿町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ (3) 作物 水稲、野菜の被害軽減 R3被害実績→ (4) その他	0.01 ha 0.02 ha 20 千円 26 千円	1 被害状況 (1) 面積 0.35 ha (2) 金額 944 千円 (3) 作物 水稲、豆類、果樹、野菜 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置の推奨 (2) 追払いの実施		2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置推奨の継続 (2) 追払いの実施		年間被害対策費合計 79,904 千円 昨年度に比べ果樹の被害が多かったために被害額が増加したが、電気柵の効果は出ているため今後も継続して電気柵等設置の推奨を行う
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施	0 頭 300 頭 2 頭 0 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施	0 頭 89 頭 2 頭 0 頭	
4 生息環境管理 (1) 農作物収穫残渣の除去 (2) 耕作放棄地の軽減		4 生息環境管理 (1) 広報は行ったが大幅な軽減には至らなかった		周知の徹底、追払い隊による呼びかけ等を積極的に行う必要がある
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。		5 その他 (1) 効率的な追払い活動及び生息調査の実施、捕獲活動を実施した。		効率的な追払い活動及び生息調査の実施、捕獲活動を実施した

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

川崎町

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.65 ha R3被害実績→ 0.93 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 440 千円</p> <p>(3) 作物 豆類、果樹、野菜、芋類 R3被害実績→ 629 千円</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 1.41 ha</p> <p>(2) 金額 480 千円</p> <p>(3) 作物 豆類、特用作物、芋類、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>R3年度と比較し、被害金額は減少したが、被害面積は増加している。 R5については、継続的な電気柵等の推進及びサルパトロールの日数を増加させ、被害の減少を図る。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 実施隊による捕獲活動の実施</p> <p>(2) 電気柵の普及、補助</p> <p>(3) 実施隊による週一回の町内パトロール</p> <p>(4) 狩猟免許(銃、わな)取得補助</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 実施隊による捕獲活動の実施</p> <p>(2) 電気柵等の普及、補助</p> <p>(3) 実施隊による週一回の町内パトロール</p> <p>(4) 狩猟免許(銃、わな)取得補助等</p>	<p>年間被害対策費合計 8,133 千円</p> <p>①R4農作物有害鳥獣駆除対策業務金 4,155千円</p> <p>②サルパトロール 1,260千円</p> <p>③電気柵等補助金 2,651千円 (イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル含む)</p> <p>④狩猟免許取得補助金 67千円</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 55 頭</p> <p>発信機装着の増設数</p> <p>発信機装着の更新基数</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 看板の設置や遊休農地の刈り払い等の実施。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。</p>	<p>被害状況の確認時に遊休農地の刈り払いの呼びかけを実施した。</p>
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

丸森町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ (3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根 (4) その他 R3被害実績→	0.10 ha 0.11 ha 162 千円 179 千円	1 被害状況 (1) 面積 0.10 ha (2) 金額 169 千円 (3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施		2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 (2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施	年間被害対策費合計 1,634 千円	年間被害対策費合計 1,634 千円 ・電気捕設置に対する補助により、受益者負担の軽減が図られ初期の目的が図られた。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数	0 頭 50 頭 0 頭 3 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数	0 頭 25 頭 0 頭 3 頭	
4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。		4 生息環境管理 (1) 10月1日に町内全戸に耕作放棄地の除草や山林の適正な管理をお願いするチラシを配付した。		・全戸配布したことにより、住民の意識啓発に繋がり、耕作放棄地の除草及び山林の適正管理に関する理解が深まった。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。		5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行った。チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図った。		・広大な範囲を巡回するため、発信機の装着は場所を特定するのに有効である。サルの群れを中心に追払いを実施し、実施隊員、パトロール員らの連携が効果的に行われている。

令和4年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

仙台市

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.1a未満 (R3被害面積 0.16a)</p> <p>(2)金額 21千円未満(R3被害金額 5千円)</p> <p>(3)作物 野菜(トウモロコシ、カボチャ、ニンジン、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、サトイモ) 果樹(カキ、クリ、イチジク)等</p> <p>(4)その他(人身被害・生活被害)</p> <p>生活被害や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1)面積 0.43a</p> <p>(2)金額 6千円</p> <p>(3)作物 野菜(カボチャ、ニンジン、大豆、ばれいしよ)</p> <p>(4)その他(人身被害・生活被害)</p> <p>人身被害 なし</p> <p>生活被害 あり</p>	<p>被害面積及び金額について、目標を達成することができた。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1)日常的な啓発・注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供 ・サルとの適切な接し方や被害防除対策について、市HP掲載や公共施設等への啓発チラシの配架等により周知啓発 <p>(2)出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出沒地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防除対策の助言・指導 ・必要に応じて、花火による追い払いを実施 ・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施 	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1)日常的な啓発・注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供 ・市ホームページや啓発チラシにより、サルとの適切な接し方や被害防除対策、農作物収穫後の残さ処理等について啓発 ・啓発チラシを公共施設等へ配架 <p>(2)出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、花火による追い払いや、出沒地域の周辺住民への被害防止対策の助言・指導を実施 ・宮城総合支所管内、秋保総合支所管内において、箱わな等による捕獲を実施。また、秋保総合支所管内で大規模追い上げ・捕獲を実施 	<p>年間被害対策費合計5,956千円 計画どおり日常的な啓発や、追い払い・捕獲を実施したことに加え、サルの群れの動向を地域の方向けに公開する「サル群れ情報マップ」を提供。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>有害鳥獣捕獲における想定捕獲数 91頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 13頭(GPS装着の1頭を含む)</p> <p>(1)群れの位置情報の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握 <p>(2)捕獲対策(人里に馴れ、山に長らない群れへの対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施 ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(6基) ・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施 	<p>3 個体数管理</p> <p>有害鳥獣捕獲における捕獲数 42頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 7頭</p> <p>(1)群れの位置情報の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に生息する群れ15群のうち、11群に電波発信機を装着 <p>(2)捕獲対策(人里に馴れ、山に長らない群れへの対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱わなによる捕獲 30頭 ・大型捕獲施設による捕獲 1頭 ・銃器による捕獲 11頭 	<p>個体数管理(被害の防止)における捕獲を行った。想定捕獲数を下回ったものの、群れ評価の悪い個体を優先して捕獲し、農作物被害低減を図っている。</p> <p>電波発信機の装着について、サルの群れが主に山中を利用したことから、麻酔銃捕獲・発信機装着作業が難航し、目標数を達成できなかった。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施 ・出沒地域周辺の刈り払いや除草、電気柵設置等の推奨 <p>5 その他</p>	<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群れの位置情報の把握を随時行うとともに、市鳥獣被害対策実施部隊が主体となり、追い上げや捕獲を実施 	<p>計画どおり広報啓発及び追い上げ・捕獲等を実施。</p>

令和4年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

大和町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (3) 作物 (4) その他	0.00 ha 0.00 ha 0 千円 0 千円	1 被害状況 (1) 面積 0.00 ha (2) 金額 0 千円 (3) 作物 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 電気柵、防護柵の設置に対する補助 (2) (3) (4)		2 被害防除対策 (1) 電気柵、防護柵の設置に対する補助 (2) (3) (4)		年間被害対策費合計 0 千円 被害なし
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1)	0 頭 0 頭 0 頭 0 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) (2)		被害なし
4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草の呼びかけ		4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草の呼びかけ		被害なし
5 その他 (1)		5 その他		

令和4年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ 0.03 ha R3被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 108千円 R3被害実績→ 0千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他		1 被害状況 (1) 面積 0.00 ha (2) 金額 0千円 (3) 作物 (4) その他		目撃情報は寄せられたが、被害等はなかった。
2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物を適正処理するよう農家へ周知。		2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。 (2) 実施なし (3) 生ごみや未収穫農作物を適正処理するよう農家へ周知。		年間被害対策費合計 2,676 千円 被害等が増えるようであれば様々な防除策を検討する必要がある。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 0頭 発信機装着の増設数 0頭 発信機装着の更新基数 0頭 (1)		3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 0頭 発信機装着の増設数 0頭 発信機装着の更新基数 0頭 (1) (2)		今後は、初動対応として追い払い用の花火を農家個々で実施してもらい、それでも被害が拡大するようであれば捕獲等の対応をしていく必要がある。
4 生息環境管理 (1) リンゴ等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。		4 生息環境管理 りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。		放置した農作物が誘因の原因(餌付け)になっっていることも考えられるため、引き続き農家に周知を徹底する必要がある。
5 その他 (1)		5 その他		

令和4年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (3) 作物 (4) その他	1.04 ha 1.30 ha 644 千円 806 千円	1 被害状況 (1) 面積 1.33 ha (2) 金額 8,945 千円 (3) 作物 果樹、野菜 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 電気柵による畑への侵入防止。 (2) 被害防除機材への導入助成。 (3) 音火花による追払い。 (4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇 (5) サル用囲いによる捕獲		2 被害防除対策 (1) 電気柵による畑への侵入防止 (2) 被害防除機材の導入助成 (3) 音火花による追払い (4) サル捕獲用囲いによる捕獲		年間被害対策費合計 33,321 千円 昨年より被害が増加、一つの群れが町場を中心より活動しており、音火花などで追い払い等を実施しているが効果が薄いため、捕獲用囲いなどを活用し、捕獲中心の対策に努めていきます。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) (2)	0 頭 50 頭 0 頭 0 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 有害鳥獣捕獲による捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) (2)	頭 15 頭 頭 頭	
4 生息環境管理 (1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 耕作放棄地の刈払いの推進		4 生息環境管理 (1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 (2) 耕作放棄地の刈払いの推進		放置された果樹の収穫及び耕作放棄地の刈払い(整備)を呼びかけた。
5 その他 (1) 町HPでの捕獲事業の周知		5 その他 (1) 町のHPでの捕獲事業の周知		町のHPなどで支援対策事業などを掲載し、広く町民に周知した。

令和5年度

ニホンザル管理事業実施計画書(市町村実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和5年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

白石市

R4実績		R5計画		備考
1 被害状況		1 被害軽減目標		
(1) 面積(下段前年度実績)	1.86 ha	(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値	1.49 ha 2.61 ha	
(2) 金額(下段前年度実績)	3,454 千円	(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→	2,705 千円	
(3) 作物 稲、豆類、果樹、野菜、いも類		(3) 作物 稲、豆類、果樹、野菜、いも類	2,947 千円	
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		
(1) 実施隊による銃器での追い上げ、捕獲を実施した。 追い払い用火花を配布した。		(1) 銃器・火花による群れの追い上げ及び捕獲の実施		年間被害対策費合計 5,245 千円 捕獲事業:800千円 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会:4,239 千円 電柵等への補助金:206千円
(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を行った。		(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助		
		(3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底		
3 個体数管理		3 個体数管理		
個体数調整による捕獲数	0 頭	個体数調整による目標捕獲数	0 頭	
有害鳥獣捕獲による捕獲数	55 頭	有害鳥獣捕獲による想定捕獲	100 頭	
発信機装着の増設数	0 頭	発信機装着の増設数	0 頭	
発信機装着の更新基数	1 頭	発信機装着の更新基数	3 頭	
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
水田周辺の除草作業を推進するよう、啓発を図った。		水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進		
5 その他		5 その他		
被害防除の情報を提供し、自己防除の啓発を図ることができた。		被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る		

令和5年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

角田市

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 0 千円</p> <p>(3) 作物 トウモロコシ、かぼちゃ、柿等</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0.00 ha (自動入力)R4被害軽減目標値→ 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値→ 0 千円</p> <p>(3) 作物 未成熟トウモロコシ、カボチャ、果樹類</p> <p>(4) その他</p>	<p>年間被害対策費合計 1,625 千円</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 機会を捉えエサとなるものを放置しないよう呼びかけた。</p> <p>(2) 7月初旬から翌年3月初旬まで、実施隊員による定期的パトロールを実施した。</p> <p>(3) 定期的パトロール時や出没時に追い払い、捕獲を実施した。捕獲はなかった。</p> <p>(4) 被害相談等の際し、自宅の戸締りや同作業場に収穫作物を置かないことを指導、また電気柵設置等の被害対策を紹介した。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 食べない野菜、果実等放置の防止を周知</p> <p>(2) 定期的パトロールの実施</p> <p>(3) 銃器による追い払い、捕獲の実施</p> <p>(4) 被害内容に応じた諸対策の提案</p>	
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による日標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 5 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊員により、被害防止パトロールを実施した。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大</p>	
<p>5 その他</p> <p>(1) 被害相談時に防止のための自己防止対策等を提案した。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 住民の被害防止意識の啓発、向上</p>	

令和5年度二ホンザル管理事業実施計画（市町村分）

蔵王町

R4実績		R5計画	備考
1 被害状況 (1) 面積(下段前年度実績) 0.09 ha (2) 金額(下段前年度実績) 51 千円 (3) 作物 林檎、スイートコーン、白菜、長芋、デントコーン、 トマト、南瓜、枝豆 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0.01 ha (自動入力)R4被害軽減目標値→ 0.01 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 20 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値→ 20 千円 (3) 作物 林檎、スイートコーン、白菜、長芋、デントコーン、 トマト、南瓜、枝豆 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲を実施した。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、サルに対して有効な防除対策資材(ワイヤーメッシュ柵+電気柵)が高価なため、設置に対する補助金の申請はなかった。 (3) 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。	2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用花火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。 (3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。		年間被害対策費合計 10,719 千円 ・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 7,250千円 ・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 2,740千円 ・蔵王町狩猟免許所得促進事業補助金 729千円
3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1) 生息調査の実施。		
4 生息環境管理 目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出沒し難い環境づくりに努めた。	4 生息環境管理 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。		
5 その他 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。	5 その他		

令和5年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

七ヶ宿町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 0.35 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 944 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆類、果樹、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1. 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0.28 ha (自動入力)R4被害軽減目標値→ 0.01 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 755 千円</p> <p>(3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値→ 20 千円 果樹、水稲、野菜</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵等設置推奨の継続</p> <p>(2) 追払いの実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵等設置推奨の継続</p> <p>(2) 追払いの実施</p>	<p>年間被害対策費合計 17,223 千円 電気柵等の設置を促し、管理・見回りにについても指導を行う。また、町単独で電気柵等の設置及び購入に係る費用の5分の4の補助を行う。 なお、常時支払い活動を実施し、ニホンザルとの境界を明確にする。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 89 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 150 頭 発信機装着の増設数 3 頭 発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 広報は行ったが大幅な軽減には至らなかった</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 農作物収穫残渣の除去</p> <p>(2) 耕作放棄地の軽減</p>	<p>行政区长や広報誌を活用し周知を図る。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 効率的な追払い活動及び生息調査の実施、捕獲活動を実施した。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣被害防除広域対策協議会との広域的な被害対策実施。</p>	<p>南奥羽鳥獣被害防除広域対策協議会に参加し、隣接自治体等と情報共有を図り、効果的な被害対策を実施する。</p>

令和5年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

川崎町

R4実績		R5計画		備考
1 被害状況		1 被害軽減目標		昨年度と比較して約3割減を目標とする。
(1) 面積(下段前年度実績)	1.41 ha	(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値	0.99 ha 0.65 ha	
(2) 金額(下段前年度実績)	480 千円	(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→	336 千円	
(3) 作物 豆類、特用作物、芋類、野菜		(3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 豆類、特用作物、芋類、野菜	440 千円	
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		年間被害対策費合計 9,221 千円
(1) 実施隊による捕獲活動の実施		(1) 実施隊による捕獲活動の実施		①R5農作物有害鳥獣駆除対策業務金 4,621千円
(2) 電気柵等の普及、補助		(2) 電気柵等の普及、補助		②サルパトロール 1,500千円
(3) 実施隊による週一回の町内パトロール		(3) 実施隊による週一回の町内パトロール		③電気柵等補助金 3,000千円 (イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル含む)
(4) 狩猟免許(銃、わな)取得補助等		(4) 狩猟免許(銃、わな)取得補助等		④狩猟免許取得補助金 100千円
3 個体数管理		3 個体数管理		
個体数調整による捕獲数	0 頭	個体数調整による目標捕獲数	頭	
有害鳥獣捕獲による捕獲数	55 頭	有害鳥獣捕獲による想定捕獲	100 頭	
発信機装着の増設数	0 頭	発信機装着の増設数	頭	
発信機装着の更新基数	0 頭	発信機装着の更新基数	頭	
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
(1) 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。		(1) 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。		
5 その他		5 その他		

令和5年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

丸森町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 0.10 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 169 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0.10 ha (自動入力)R4被害軽減目標値→ 0.10 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 170 千円</p> <p>(3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値→ 162 千円 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 住民による自主防除対策への支援</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 住民による自主防除対策への支援</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施</p>	<p>年間被害対策費合計 1,860 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気柵設置に対する補助 ・鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い 1,860千円
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 25 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 3 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 30 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 3 頭</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかけた。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかけた。</p>	
<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行った。チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図った。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>	

令和5年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

仙台市

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害状況</p> <p>(1)面積 0.43a</p> <p>(2)金額 6千円</p> <p>(3)作物 野菜(カボチャ、ニンジン、大豆、ばれいしよ)</p> <p>(4)その他(人身被害・生活被害)</p> <p>人身被害 なし</p> <p>生活被害 あり</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 0.11a未満</p> <p>(2)金額 3.7千円未満</p> <p>(3)作物 野菜(カボチャ、キュウリ、ダイコン、ナス) 栗樹(カキ)等</p> <p>(4)その他(人身被害・生活被害)</p> <p>生活被害や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>仙台市鳥獣被害防止計画(令和2年度策定、令和4年度一部改正)における被害軽減目標(令和5年度)の達成を図る。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1)日常的な啓発・注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供。 ・市ホームページや啓発チラシにより、サルとの適切な接し方や被害防止対策、農作物収穫後の残さ処理等について啓発。 ・啓発チラシを公共施設等へ配架。 <p>(2)出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、花火による追い払いや、出没地域の周辺住民への被害防止対策の助言・指導を実施。 ・宮城総合支所管内、秋保総合支所管内において、箱わな等による捕獲を実施。また、秋保総合支所管内で大規模追い上げ・捕獲を実施。 	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1)日常的な啓発・注意喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供 ・サルとの適切な接し方や被害防除対策について、市ホームページへの掲載や公共施設等への啓発チラシの配架等により周知啓発 <p>(2)出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い、除草、電気柵設置等の被害防除対策の助言・指導 ・必要に応じて、花火による追い払いを実施 ・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施 	<p>年間被害対策費合計7,236千円</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>捕獲数 42頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 7頭</p> <p>(1)群れの位置情報の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に生息する群れ15群のうち、11群に電波発信機を装着。 (2)捕獲対策(人里に馴れ、山に長らない群れへの対応) <p>箱わなによる捕獲 30頭</p> <p>大型捕獲施設による捕獲 1頭</p> <p>銃器による捕獲 11頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>有害鳥獣捕獲における想定捕獲数 82頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 10頭(GPS発信機装着の1頭を含む)</p> <p>(1)群れの位置情報の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握 (2)捕獲対策(人里に馴れ、山に長らない群れへの対応) <p>箱わな設置や定期/不規則による捕獲の実施</p> <p>大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(6基)</p> <p>地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群れの位置情報の把握を随時行うとともに、市鳥獣被害対策実施隊が主体となり、追い上げや捕獲を実施。 	<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施 ・出没地域周辺の刈り払いや除草、電気柵設置等の推奨 	
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

令和5年度二ホンザル管理事業実施計画（市町村分）

大和町

R4実績		R5計画	備考
1 被害状況		1 被害軽減目標	
(1) 面積(下段前年度実績)	0.00 ha	(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値	0.00 ha
(2) 金額(下段前年度実績)	0 千円	(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値	0 千円
(3) 作物	0	(3) 作物	0 千円
(4) その他	0	(4) その他	
2 被害防除対策		2 被害防除対策	
(1) 電気柵、防護柵の設置に対する補助		(1) 電気柵、防護柵の設置に対する補助	
(2)	0	(2)	
(3)	0	(3)	
(4)	0	(4)	
3 個体数管理		3 個体数管理	
個体数調整による捕獲数	0 頭	個体数調整による目標捕獲数	0 頭
有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭	有害鳥獣捕獲による想定捕獲	0 頭
発信機装着の増設数	0 頭	発信機装着の増設数	0 頭
発信機装着の更新基数	0 頭	発信機装着の更新基数	0 頭
(1)		(1)	
(2)		(2)	
4 生息環境管理		4 生息環境管理	
耕作放棄地の除草の呼びかけ		耕作放棄地の除草の呼びかけ	
5 その他		5 その他	
		年間被害対策費合計	0 千円

令和5年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

山元町

R4実績	R5計画	備考
<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) 0 千円</p> <p>(3) 作物 0</p> <p>(4) その他 0</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画) 0.03 ha R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画) 108 千円 R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値</p> <p>(3) 作物 108 千円 リンゴ、野菜</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 緊急出動体制の整備、行政区長を經由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。</p> <p>(2) 実施なし</p> <p>(3) 生ごみや未収穫農作物を適正処理するよう農家へ周知。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 緊急出動体制の整備、行政区長を經由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。</p> <p>(2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う</p> <p>(3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。</p>	<p>年間被害対策費合計 533 千円</p> <p>実施隊日当 137,250円</p> <p>危険手当 200,000円</p> <p>サル捕獲作業委託料 195,800円</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 10 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p>	<p>住民からの目撃情報や被害状況があれば、できる限り現場確認し、情報収集に努める。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。</p>	
<p>5 その他 0</p>	<p>5 その他</p>	

令和5年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

加美町

R4実績		R5計画		備考
1 被害状況		1 被害軽減目標		
(1) 面積(下段前年度実績)	1.33 ha	(1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値	1.23 ha 1.04 ha	
(2) 金額(下段前年度実績)	8,945 千円	(2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値	765 千円 644 千円	
(3) 作物 果樹、野菜		(3) 作物 野菜、果樹		
(4) その他	0	(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		年間被害対策費合計 29,130 千円 町鳥獣被害防止対策協議会助成事業を活用し、対策に努める。
(1) 電気柵による畑への侵入防止		(1) 電気柵による畑への侵入防止		
(2) 被害防除機材の導入助成		(2) 被害防除機材の導入助成		
(3) 音花火による追い払い		(3) 音花火による追い払い		
(4) サル捕獲用囲いわなによる捕獲		(4) サル捕獲用囲いわなによる捕獲		
3 個体数管理		3 個体数管理		
個体数調整による捕獲数	0 頭	個体数調整による目標捕獲数	頭	
有害鳥獣捕獲による捕獲数	15 頭	有害鳥獣捕獲による想定捕獲	50 頭	
発信機装着の増設数	0 頭	発信機装着の増設数	頭	
発信機装着の更新基数	0 頭	発信機装着の更新基数	頭	
(1)		(1)		
(2)		(2)		
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
放置された果樹のもぎ取り処分の推進		放置された果樹のもぎ取り処分の推進		
耕作放棄地の刈払いの推進		耕作放棄地の刈払いの推進		
5 その他		5 その他		
町のHPでの捕獲事業の周知		町のHPでの捕獲事業の周知		